

季節風

2015.11.12

No.27

山鹿市立鹿北中学校

文責：郡 一路

□ 授業改革への挑戦 □

現在、一年生の数学は、教室より広いランクルームで行っています。広い空間を利用することで、生徒一人一人の学習ペースに合った複数の「**学習の場**」をつくることができます。生徒の様子からは、友だちと相談したり、先生からアドバイスをもらったりと、**主体的に学習に取り組む姿**が見られます。授業の初めと終わりは一斉学習、途中の問題演習は個別学習と、メリハリがついて、**集中力**も高まっています。

この取組は、文部科学省が「それぞれの子どもが、授業内容が分かり、学習活動に参加している実感・達成感を持ちながら、充実した時間を過ごしつつ、生きる力を身につけているかどうか、これが本質的な視点」と、これからの教育の方向性を示していますが、その方向性と合致すると考えています。



◇ 国際理解教育 ◇



十日（火）の6時間目、国際理解教室が開催されました。3名のALTの先生に来校していただき、それぞれの国の文化の紹介やクイズなどをして交流しました。

クリス先生（スコットランド）は、キルトという民族衣装を着て、バグパイプという楽器の音を聴かせてくださいました。

ストラトン先生（アメリカ）は、感謝祭の話をして、感謝したい人を紙に書く活動をしました。

デニス先生（フィリピン）は、母国語であるタガログ語でいろいろなものを表現してくれました。

楽しく交流しながら日本とは違う文化に触れることができました。

県納税貯蓄組合 連合会会長賞 受賞

以前、学校便りでも紹介した、**伊藤舞桜さん**の税の作文「**未来につなぐ税**」が県で表彰されることとなりました。おめでとうございます。

自分の幼い頃の体験から税の大切さを感じたこと、そして、私たちが未来へとつないでくれる税への感謝の気持ち、さらには、自分の夢やこんな人になりたいとの思いを綴った作文です。

この作文は、十一日〜十七日まで「ゆ〜かむ」にて展示されます。ぜひ、もう一度読んでほしいと思います。

宮崎調理員さん誕生日へ還暦のお祝い

九日（月）の給食終了後、すこやか委員会が中心となって作成した、きれいな表紙付きのメッセージカードを、宮崎調理員さんにプレゼントしました。思いがけないプレゼントにびっくりするとともに、とても感激されて、涙を浮かべて喜んでくださいました。宮崎調理員さんは、来年三月で定年退職されます。本当に長い間、小・中学生のために、心を込めて給食を作ってくださいました。私たちは、時間になればできている給食（家での食事）を当たり前と思わず、常に感謝の気持ちをもっていただくことができる、そんな人でありたいものです。

昨日は、子どもたちから心あたたまるメッセージを頂き、ありがとうございます。三十六年間、学校給食に携わってきて、たいへんうれしく思いました。学校給食を通して「食の大切さ」を感じてほしいと心より思っています。

